CPMS実施状況

CPMSセンター

（24.Sep.2026）

CPMS遵守状況

01.Jan.2026～31.Aug.2026

登録医療機関	登録患者	CPMS違反	血糖警告
715	27784	491	7

	内　容
検査未実施：17件	規定の間隔以内に検査を実施しなかった。
報告遅延：472件	検査は実施していたが報告が遅れてしまった。
その他：2件	虚偽の検査結果及び検査日の報告 残薬があることを考慮し、検査期限を越えて検査を実施した
血糖モニタリング警告：7件	血糖・HbA1c未実施。

過去のCPMS遵守状況（1）

	登録医療機関	登録患者	報告書	検査未実施	報告遅延	その他	血糖警告
2009年*	29	50	333	0	1	1	1
2010年	106 （77）	252 （202）	6216	2	36	0	9
2011年	162 （56）	612 （360）	15190	6	139	2	5
2012年	201 （39）	1298 （686）	30506	10	198	1	2
2013年	258 （57）	2088 （790）	47610	12	248	1	3
2014年	313 （55）	2975 （887）	64917	18	213	2	2

＊:7/29～

過去のCPMS遵守状況（2）

	登録医療機関	登録患者	報告書	検査未実施	報告遅延	その他	血糖警告
2015年	334 （21）	4005 （1030）	82609	22	248	3	1
2016年	381 （47）	5057 （1052）	98397	27	225	0	12
2017年	436 （55）	6341 （1284）	119484	8	265	0	20
2018年	510 （74）	7852 (1511)	141272	23	331	0	11
2019年	533 （23）	9499 (1647)	166850	22	315	0	4
2020年	558 （25）	11383 (1884)	191234	22	338	0	5

過去のCPMS遵守状況（3）

	登録医療機関	登録患者	報告書	検査未実施	報告遅延	その他	血糖警告
2021年	583 （25）	13426 (2043)	196332	13	213	3	1
2022年	615 （32）	15496 (2070)	178362	28	460	4	10
2023年	639 （24）	18393 (2897)	202986	32	506	1	15
2024年	675 （36）	21841 (3448)	244668	34	540	7	8
2025年	702 （27）	25401 (3560)	271685	25	590	3	10
Total	702	25401	1958451	304	4866	28	119

過去のCPMS遵守状況（その他）

	内　容
その他：24件	管理薬剤師不在（外来日にクロザリル管理薬剤師が2名とも不在） 施設要件不履行（ヘモグロビンA1c検査結果を採血当日に得ていなかった） 不適切流通（未登録薬局への譲渡） 施設要件不履行（コーディネート業務・クロザリル管理薬剤師兼任者が1名のまま6ヵ月間CPMSを運用。その間に新規患者の登録あり） レッドの患者に処方されてしまった（調剤はせず）。 患者登録の手続きを完了せず、4週間検査未実施のままクロザリルを処方した。 投与開始前のHbA1cの検査が11日前であった。 検査間隔が1週間ごとの患者に14日分の処方をし、検査を実施しなかった。また、「来院せずのため休薬」と虚偽の報告を行った（2件）。 検査間隔が2週間ごとの患者に検査を実施せずに14日分の処方をした。検査期限を4日間過ぎて検査が実施された。 検査間隔が1週間ごとの患者に14日分の処方をし、検査を実施しなかった。また、「来院せずのため休薬」と虚偽の報告を行った。 無顆粒球症にも関わらず、適切な対応を怠った。また、無顆粒球症の報告をせず、虚偽の報告をした。 レッドだったにも関わらずデータを改ざんし虚偽の報告をして継続投与していた。また、てデータ改ざんが発覚し、中止となった患者に対して無断で再投与を行った。

過去のCPMS遵守状況（その他）

内　容
患者が、コロナ患者の濃厚接触者となり来院ができなかったため検査をせず処方した（3件）。 イレギュラーで検査した結果、レッドであったが報告せず、継続した。 プロトコールCの患者に対して内科医との相談なく処方をしていた。 初回報告の検査実施日が11日前であった。 レッドの報告（同意撤回のみ）をしていなかった。 レッドの患者がグリーンに回復したので、再投与検討依頼をせず再投与した。 他科の検査でレッドになったが、把握が遅れ、数日間継続投与した。また、医療従事者の登録削除を怠り、施設要件が未達であったが、新規患者登録していた。 連携していない医療機関の患者情報を確認せず、薬剤を払い出した。 有害事象により他院へ搬送後にレッドになったが、把握が遅れ、2日間継続投与した。 イレギュラーの検査において「レッド」であったがeCPMSで報告せず、レッド後に実施すべき規定の検査を行っていなかった。 検査未実施であったがクロザリルを調剤し、服用を継続 レッドであったがeCPMSには「来院せず」で入力 他院他科においてレッドになったが確認が遅れ3日後に中止した

クロザリル顆粒球減少症

29.July.2009～31.Aug.2026

登録患者	レッドで中止
27784	1504 （5.41%）

	備　考 （eCPMSで報告された時点のものであり、最終的な中止理由と異なる場合がありますのでご留意下さい）
無顆粒球症*に移行：**252例**	中止後、転院などCPMS終了後に好中球数　500/mm^{3}未満となった10**例**を含む

＊：CPMSセンターでは、【好中球数が500/mm^{3}未満】で報告のあった症例の有害事象名を「無顆粒球症」として集計しています。

クロザリル耐糖能異常*

29.July.2009～31.Aug.2026

登録患者	プロトコールC	A,B⇒C	Cで登録
27784	6039 （21.74%）	5328	711

備　考
（eCPMSで報告された時点のものであり、最終的な中止理由と異なる場合がありますのでご留意下さい）

耐糖能異常にて中止：**49例**

耐糖能異常悪化（再登録1例）

＊：CPMSセンターでは、プロトコールC(空腹時血糖値126mg/dL以上 または随時血糖値180mg/dL以上 またはHbA1c6.5%(NGSP値)以上)で報告のあった症例の有害事象名を「耐糖能異常」として集計しています。